

会 議 録

- 1 会議の名称 令和3年度 第1回 熊取町都市計画審議会
- 2 開催日時 令和3年7月29日（木）午前10時00分～12時00分
- 3 開催場所 熊取町役場 北館 3階 大会議室
- 4 議題
 - （1）熊取町立地適正化計画の策定について
 - （2）今後のスケジュールについて
- 5 公開・非公開の別 全部公開
- 6 傍聴者数 0名
- 7 審議会等の概要
 1. 熊取町立地適正化計画の策定について
事務局が作成した熊取町立地適正化計画の資料に基づき概要や方針（案）を説明した後、各委員の皆様にご意見をいただきました。

【委員からの意見】

- ・熊取駅の乗降客が非常に多いというのは、町民よりも他市町村の方々が多く乗降で使っているからで、駅前から役場間を都市機能誘導区域に含めるのは理解できるが、駅周辺が開発されると町民は自家用車メインで動くことが多いので駐車場が足りなくなるとか路線バスの本数を増やすと大阪外環状線の渋滞が発生するなどの問題も想定される。将来的な高齢化社会に備え、自動車に頼らないことを踏まえた都市計画を考える必要がある。
- ・商業、要は法人税とか、そういう観点で都市を賑わせるというのは非常に良いことだと考える。
- ・基本的なまちづくりというのは、道造りで、道の整備がされていない市町村には人口が集積されない。

- ・役場周辺の歩道は狭く、乳幼児を養育されている若い世代の方たちが、バギーを使って役場に行くのが大変である。町は子育てがしやすいというキャッチフレーズで若い世代の方達がたくさん転入してきているので、道路の安全面は非常に大事である。
- ・駅東側の土地区画整理事業が平成 3 年に完成したが、商業施設が少なく、住宅や塾、駐車場ばかりできている。飲食できるところも駅周辺は非常に少ない状況で、今後土地利用を考えていく上で、都市計画の用途地域に見合ったものを誘導していかないといけない。人口減少、生産者人口が減少してくる中で、税金をたくさん納めてくれる世代が少なくなり、町の財政が益々厳しくなる。そういった意味でも立地適正化計画でコンパクトシティをつくっていくということは、町のこれからの 20 年に非常に重要な計画になる。
- ・今回の三つの誘導方針、よく町のことを分析しているなと感じました。その中でも急ぐのが、駅周辺の整備だと思います。現在、駅西地区で泉佐野市の方が既に道路の整備を行っており、今後駅西地区の土地利用が町のまちづくりの鍵を握っており、駅東地区のあの閑散とした状態ではなく、やはり賑わい、明るいまちづくりというのが必要。
- ・浸水対策について、住吉川の桐方橋の上流、特に煉瓦館周辺は、浸水する可能性があり、最近の集中豪雨を鑑みて対策が必要だと考える。大阪府の河川整備を待っていたらいつになるかという思いがあり、町としてできる浸水対策を考えたらどうか。
- ・山手側にお住まいの方々が自家用車をあまり使わずに商業施設に容易に行ける、そういうまちづくりも必要。
- ・居住誘導区域（案）のところに浸水想定区域が一部入っているが、河川の改修等を行うことで浸水想定区域は改善されるだろうと思われるが、改善の度合いが低いのであれば、居住誘導区域から外してもいいのではないかなと考える。

2. 今後のスケジュールについて

- ・各委員の皆様からの頂いた意見も参考にしながら、計画策定に着手し、今後役場庁内の関係部署で構成した「庁内関係部署会議」や大阪府等の関係機関との協議を経て、計画（案）を作成。
- ・11月開催予定の第2回都市計画審議会にて計画（案）を説明、審議を予定、委員の皆様から審議を頂き了承を得た計画案を12月開催の議員全員協議会において報告。
- ・年明けパブリックコメントも実施し、3月開催予定の第3回都市計画審議会に、最終の計画案を諮問させていただきたい、問題等なければ同日付けで答申をいただき、計画を公表予定。

8 審議会の情報

名称	熊取町都市計画審議会
根拠法令等	熊取町都市計画審議会条例
設置期間	平成8年7月1日～
所掌事項	熊取町都市計画に関すること
委員数	14名

9 担当課

まちづくり計画課